

議事録

1 概要

議題・会議名	令和6年度 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和6年6月25日（火）午後1時から3時まで
場所	静岡県立清水特別支援学校 会議室
出席者	外部委員6名 本校教職員10名 計16名
目的	学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深めるとともに、その権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校の運営への参画、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組むものとする。
テーマ	「地域とともにかがやき発信（貢献）する清水特別支援学校を創ろう」

2 議事

13時 令和6年度第1回学校運営協議会 開会

- ・外部委員6名、本校教職員10名、計16名で開会した。

①校長挨拶

- ・校長より、挨拶が行われた。

②委員の任命（任命状の授与）

- ・校長より外部委員に任命状を授与した。

③自己紹介（本校教職員、委員）

④会長・副会長の互選（規則第14条）

13時15分～13時55分 校内参観（小学部→中学部→高等部）

13時55分 協議（進行：学校運営協議会長）

議題Ⅰ「令和6年度学校経営計画説明」

- ・学校経営計画説明（校長）
- ・学部経営計画説明（各学部主事）
- ・地域との交流活動（地域連携課長）

議題Ⅱ「令和6年度学校経営計画への質疑応答、本日の感想と意見」

A委員： 地域連携課長の話でもあったように、私たち地域との交流も11年めに入ったわけですが、それほどの時間が経ったのかと感じました。これからも、本校と地域との連携をますます深めていけるように、頑張っていきたいなと思っております。よろしくお願いします。

C委員： 校内参観では、子どもたちの良いところ、活動している姿を見ました。特に狭隘化が進んでいるという状況ではなく、適正な環境の中で皆さんが生活されていると感じました。

学校運営協議会の役割として、経営書の「目指す学校像」の承認ということがあるので、それについて話をします。学校経営書の「目指す学校像」について見ていくと、主語が「学校」になるものが多いです。教育目標は、「児童生徒一人一人が夢を持って可能性を延ばし、地域で自分らしく生きることをみんなで支援する」とありますが、子ど

も像ではなく、学校像です。中期目標についても、児童生徒・職員が…と始まり、最後はかがやく「学校」です。「元気・笑顔・貢献」についても、「安心・安全」や「専門性」ということ等も学校視点です。学校経営計画なので、当然のことではあるけれど、清水特支としてどのような子どもたちを育てていきたいのか、ということをお願い子ども像のような形で書き起こすと、小中高のつながりが見やすくなると思います。例えば、児童生徒が「行きたい学校」と言うと、「行きたくない」と言っている子がそんなにいるのかと思ってしまいますし、「行きたい学校」等の言葉は20年くらい前から使っているので、敢えてここであげる必要があるのか、と思います。それよりも、清水特支で育てていきたい子ども像、それが、教育目標の「夢を持って可能性を伸ばし、地域で自分らしく生きる」という形になると思います。それを、もう少し分かりやすく噛み砕いたものがあって、それを受けて「元気・笑顔・貢献」とあって、それも子どもの姿の「元気・笑顔・貢献」があるとよいと思います。

中期目標ですが、昨年度5分の2と書いてあって2年目と分かりましたが、今年度は3年目となるのか、「かがやく学校」となって新しい節目となるのかと思っています。そして、清水とともにかがやこうということで、挑戦から一歩踏み込んでいきたい、というお話でしたが、それを具体的に一人一人の児童生徒に照らし合わせたときにどういう姿をイメージしているのか、ある程度ゴールインした時の姿を明確にしておかくと、達成できたかどうかが見えると思います。（経営書に）数値目標を置かないという話ですので、達成した時のイメージを描いておいた方が、先生方も分かりやすいし、取り組みやすいのではないかと思います。

清水特支の先生方は、エネルギーに取り組んでいるので、小学部の説明であった、今年度の「ウリ」のような感じで、それぞれの学部の「ウリ」という形でまとめていくのも面白いと思いました。小学部で自立活動の時間を作ったこともよい取り組みだと思いますし、高等部の畑を校内に作ったことも、いろいろなことを縮小していこうという動きが多い中で、新しい取り組みを行っていることは挑戦ですので、そのような先生方のエネルギーを明確に表現できるような形で整理していくと、さらに素晴らしくなると思いました。

D委員： 校内の様子を拝見し、教室の外に飾ってある作品の名前に目が留まりました。名前の画数を見たり、漢字の持つ意味を考えたりすると、親御さんたちがその字に思いを託してつけられたのだなと思いますし、だからこそ大事に育ててあげたいと思うのです。「教育」の文字の通り、「育てる」ということが大事である、と私も教育実習で指導教官から教わりました。何ができるかは分かりませんが、協力をしますので、よろしくお願いします。

E委員： 学校経営書の今年度の取り組みの成果目標を、どうしても数値やパーセントで表しがちですが、数値ではなく姿や状態で表すのは、新鮮ですしとても良いと感じました。

また、現在、清水のいろいろなイベントに参加していただいていますし、一緒にこの清水の街を盛り上げていくことを考えてくださっているのはありがたいと思っています。私たちからもお声掛けしていきますので、引き続き御協力いただければと感じたところです。

F委員： PTAの目線からの意見と感想の2点です。

1つは、私の考えでは、児童生徒たちにとって、清水らしさというのは、郷土愛を育むということで、そのような気持ちをどこかで繋ぎながら成長していったほしいと思っています。自分自身も清水に生まれ育って今日に至るわけで、郷土愛を持っていると自負しております。子どもたちにもそのように成長過程を辿っていただきたいと願っております。

もう1つは、PTAの活動としましても、飯田まつりへの参加を含めて、なるべく地域に貢献する形で私たちPTAを知ってもらい取り組みを考えています。

一方で、特別支援学校は福祉避難所に指定されております。避難所としての運営に当たる学校であるということも含めて、この地区との関係が必要に、大事になっていきますので、そのようなことも（学校経営計画に）少し盛り込んでいただけたら、またより良くなるのではないかと思います。

B委員： 就労の立場から、地域連携ということで考えると、一般就労と福祉就労と生活介護等、色々な道があると思うのですが、今、清水特支で学んでいる児童生徒の皆さんが、「社会で知っていただく」、そして「受け入れていただく」、そして「ともに発展していく」地域となると良いのではないかと思います。学校に私たちの持っている資源をどう使ってもらえるだろうか、と思っておりますし、色々な形で私どもの会社だけでなく、特例子会社等はいろいろな資源を提供することができますし、それ以外の企業もどんどん使っていただいて、呼んでいただいて、私たちがすることはやらせていただきたいと思っております。こちらを使っていただくことで、知る人を増やしてほしいですし、そこから発展して地域に貢献する、貢献する力は児童生徒の皆さんは持っていると思いますので、今回の成果目標を充実させて、地域にどんどん発信していただきたいと思っております。

司 会： 令和6年度学校経営計画について、承認いただけるか確認をします。承認いただける方は、拍手をお願いします。
—全員拍手— → 承認されました。

C委員： 運営協議会委員の役割に、もう1つ、教職員の任用に関して意見を言うことができる、ということがあるので、もし困っていることがあるのであれば…。よく話題になるのは子どもたちの男女比と教員の男女比が違うことであるとか、例えばこの学校に100人教員を配置できるといわれても、それほど免許を持っている人がいなくて、つかまらなくて欠員状態でやっていることもあります。

校 長： ありがとうございます。職員の男女比については、男性職員が非常に少ないですが、昨年度要望をしまして、昨年度よりも男性職員が増え、足りていませんが増えました。これからも要望していこうと思っております。職員数についても、欠員が出ていて見つからない状況です。募集を出していますし、県の人財バンクに問い合わせをしていますが、全国的にもいない状態です。妊娠されている先生の実技軽減の職員もいない状態ですし、男性職員の育児休業取得者ももちろんいます。募集をかけていますが、厳しい状況です。

<議題終了>

14時55分 第1回コンプライアンス委員会

資料15ページから資料に沿って説明。
今後も学校運営協議会の中で定期的に報告をする。

15時 閉会

【次回の予定】

予定日時	令和6年9月6日（金）午前9時15分から11時15分まで
場所	静岡県立清水特別支援学校 会議室

